

飯田市 西部山麓観光エリアビジョン策定業務 実施概要（飯田市商業観光課 委託事業）

1. 業務の目的

本業務は、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道開通を見据え、飯田市西部山麓エリアに広がる豊かな自然、雄大な眺めなど貴重な地域資源を見つめ直し、効果的な活用方法を検討するとともに、必要な機能、体制、仕組みなどを整理した西部山麓地域における観光のあり方を示す観光ビジョンを策定することを目的とする。

2. 調査結果

特長を活かした各施設の活用の方向性

①西部山麓エリア全体

- 豊かな自然をはじめ、絶景のパノラマ展望（南アルプス、伊那山地、天竜川、市街地等）の眺望を活かしながら、地域・関係団体主体による多様な資源を活用した持続可能な観光地域づくり、サステナブル・ツーリズム、レスポンスブル・ツーリズムを推進する。
- 西部山麓エリアを構成する多様な資源の連係、連携により、エリア全体の魅力を向上が見込めるとともに、多様化する旅の目的に対応できるようにしていく。

②座光寺大門原

- 都市部との交流を継続していくとともに、農村で農業、文化、生活が楽しめる、体験ができる観光の仕組みをつくり推進する。
- このことにより、地域の主要な産業である「農業」が持続していく、優良な農地の遊休地化の進行の抑制につながる。

③野底山森林公園

- 既存施設で学習活動、野外活動、体験活動に利用できるように適切な維持管理を継続していくとともに、健康・観光・教育等の様々な分野で森林空間を活用した体験プログラムや屋外イベントの場が提供できるように、個人から団体、野外イベントなどを幅広く受け入れられるようにしていく。

④風越山、猿庫の泉

- 飯田市を象徴するふるさとの山として、いつでも・だれでも、日帰りで、思い思いに登ることができる「風越山」、「虚空蔵山」として活用していく。
- 市民をはじめ活動への参加者がやり甲斐が感じられ「猿庫の泉」への誇りと愛着を高めるとともに、「野点」や整備・清掃などの活動が継続していくようにする。

⑤大平宿

- 手つかずの自然、山村の原風景の中で、宿場町当時の建物（家屋）での生活体験の観光活用によって、当地域に実在した山村の自然や歴史文化、暮らしぶりに理解を深めるとともに、引き続き、市民、所有者をはじめ、施設利用者や全国の支援者等と連携・協力して集落の保存継承につなげていく。

⑥沢城湖

- 地域主体により策定された「沢城湖一帯の整備ビジョン」をベースに役割分担の下、受入環境を整え、西部山麓エリア唯一の湖、明るく開放的な湖畔を有効に活用したアクティビティが再び体験できるようにしていく。

⑦杵原学校

- 山本地区が木造校舎の整備・活用として取りまとめた「再び学びの場として活用する」を第一とし、これまでの取組を継続していく。
- 国登録有形文化財として、映画やコマースのロケ地としての魅力を地域内外へ発信するとともに、さらなる活用方法を考えていく。

飯田市西部山麓観光エリアビジョン

